

HuRP通信
2011年

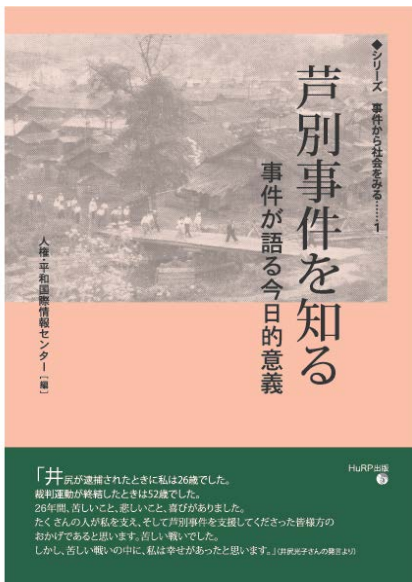
7 月号 (第60号)

<http://www.hurp.info>

これまで HuRP の行ってきた活動については、本紙で報告してきましたが、小さな紙面では、なかなかみなさまに伝わりづらいものもあったかと思えます。このたび、活動のひとつを元に本を刊行しました。この活動の記事を読んだことがある人もない人も、一緒に考えてみませんか。

『芦別事件を知る——事件が語る現代的意義』シンポジウム ブックレットとして、2011年7月に刊行

2006年の発足以来、HuRPは人権や平和に問題について、イベントや学習会などを行ってきました。今回、その中から2007年12月に開催した「芦別事件」のシンポジウムを書籍として刊行することになりました。



●えん罪事件「芦別事件」とは

1952年7月29日午後8時40分頃。今から約60年前に北海道のほぼ真ん中に位置する芦別市

の国鉄(現在の JR)根室本線の線路が爆発される事件が発生しました。「芦別事件」と呼ばれるこの事件で犯人とされた井尻正夫さん、地主照さんが札幌高裁で無罪判決を得るまでに実に11年間もの間、長い闘いを続けなければなりませんでした。

●えん罪被害者の人権を知り、考える

無実でありながら、何らかの理由(そのほとんどは、警察、検察により作られた犯行ストーリーよるでっち上げ)で事件の犯人とされた、いわば警察、検察、そして裁判所という国家の機関によって人権を奪われてしまう「えん罪」。一度有罪判決が確定してしまうと「えん罪被害者」が裁判所に裁判のやり直しを求め、無罪とさせること自体、大変難しいことです。

無罪を勝ち取るまでの間、社会的には犯罪者とみられる「えん罪被害者」は人権を著しく侵害されているのです。HuRPは、このえん罪被害者の人権を知り、学ぶことを活動の一つとしたわけです。

●「白鳥事件」そして「芦別事件」のシンポジウムへ

1975年5月20日に白鳥事件（1952年1月に札幌で発生した警察官が拳銃で殺害され、犯行は、当時の日本共産党のメンバーとされた）で被告人とされた村上国治さんの再審開始請求に対して最高裁判所は、『疑わしきは被告人の利益に』の原則は、再審事件にも適用される」（白鳥決定）という内容の決定を出しました。この決定が後に四大死刑再審事件も含めて再審において無罪判決をかちとる大きな要因となりました。

以前「HuRP通信」でも紹介しましたが、私たちは「白鳥決定」を引き出した「白鳥事件」を調べる過程で、その年の6ヶ月後に同じ北海道で発生した芦別事件を知ることになりました。

そして幸いにも、えん罪被害者の井尻さんの奥さん、井尻光子さんと刑事事件の専門家の先生などのご協力を得て、前述のシンポジウムを開催することができました。

●活動成果の公表と株式会社HuRP出版

芦別事件のシンポジウムのほかにも2005年以降、HuRP主催で行った人権・平和に関するさまざまなイベントや学習会それ自体は、決して大規模のものではないのですが、それぞれ趣旨に沿った成果を残しております（その内容は「HuRP通信」で紹介してきました）。

設立後6年を経過し、そうした成果をどのような形式で記録としてまとめるかについて検討している中で、NPO法人の活動趣旨に共感する会員の方が中心となって本年2月に出版社が設立されました。NPO法人と二人三脚の協力関係にあることから、会社名は「株式会社HuRP出版」（人権、平和の実現に貢献する書籍などを刊行、販売）です。

そして今回、NPO法人の記念すべき第1作目の書籍として、事件発生から59年目の7月29日に『芦別事件を知る——事件が語る今日的意義』（A5判、88頁、定価1,000円）を刊行することになりました。

なお本書は直接販売の形式で販売します。

以下に申込みいただければ、送料込みで1,000円で販売いたします。

えん罪事件における人権侵害は、今なお多くの被害者を生み出しています。そのこととNPO法人HuRPの活動内容を知っていただくためにも、ぜひご一読いただければと思います。

今後も引き続き人権、平和にかかわる活動を行っていくと同時にその成果の公表を行っていきたいと思います。

記

『芦別事件を知る——事件が語る今日的意義』ご購入申込先

1. 申込先

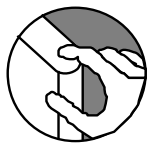
Email hurp@hurp.info

FAX 03-3234-3231

2. 冊数、送り先住所、電話番号、氏名を記してお送りください。

NPO法人HuRP事務局

HuRP 出版



HuRP出版のロゴは
HuRPメンバーの望さん
がデザインしました！

「自由に発想してください」といわれ、とりかかった HuRP 出版のロゴ制作。HuRP の会議参加者にも意見を聞きながら、人や木、「H」の文字などをモチーフに 7 案を提示した。投票は、6~7 人が参加し 2 回に分けて行われた。7 案から 3 つに絞られた後、票が割れ、1 つに決めかねていた皆さん。「ぱっと見て分かりやすいのがロゴでしょ?」「なんだろう? って思わせるロゴもありでしょ」…意見はさまざま。決め手となったのは、第 1 回投票からたった 1 人“本棚から 1 冊の本を選びとる”ロゴ案を強く推すメンバーのコメント。

「大きくは取り上げられなくても、売れなくても、みんなで話し合わなきゃいけない社会の出来事はたくさんあって、そういう見落とされがちだけど意義あるテーマを本にする…それが HuRP 出版設立の趣旨だというお話が、すごく印象に残ってるんです。だから、多くの本から 1 冊を選ぶ、この手のロゴが一番相応しいはず!!」

「お~お…なるほど」(一同)

明らかに少数派だった 1 人の意見が、NPO・HuRP と HuRP 出版の活動内容や趣旨を再確認させてくれるものとなった選考会。これこそ、HuRP 出版らしいロゴ選びだったと思う。めでたしめでたし。

*個人的に、デザインのよい勉強にもなりました。ロゴ制作を担当させていただき、ありがとうございました。
(望)

『法学館憲法研究所報第 5 号』紹介

法学館憲法研究所から『法学館憲法研究所報』第 5 号が刊行されました。学校の教育と教職員をめぐる状況、東日本大震災後の日本とアジアの関係、「一人一票」についての提言など、現代の様々な問題を多様な分野の方々が憲法の視点から論じています。

また、東日本大震災の被災者の声も掲載しています。
ぜひご一読ください。

ご購入は、法学館憲法研究所事務局
(Tel 03-5489-2153 Mail info@jiicl.jp) まで
お問い合わせください。

法学館憲法研究所 編集・発行
HuRP 出版 発売
2011 年 7 月発行 : A5 判
税込 800 円

(目次)

〈第7回公開研究会「現代の諸問題と憲法」〉

講演録「教育と憲法——学校民主主義（スクールデモクラシー）の現状と可能性」勝野正章氏（東大准教授）

『日本国憲法と裁判官』出版記念講演会

講演録「裁判所・裁判官について思うこと」園部逸夫氏（元最高裁判事）

[論文]「東日本大震災後のアジアと日本——憲法の視点から」水島朝徳氏（早大教授）

[論文]「アジアとの歴史和解をめざす第一回フォーラムの成果と今後の課題」

石山久男氏（元歴史教育者協議会委員長）

[意見] 戦時の記憶とふる里喪失——福島原発事故をめぐって」中里範忠（東日本大震災被災者）

「原爆症認定集団訴訟 たたかひの記録

——明らかにされたヒバクの実相」

2011年8月6日、日本評論社より刊行

（2巻セット、15000円＋税）

2001年当時、被爆者25万人のうち、原爆に起因する病気に罹患しているという「原爆症の認定」を受けていたのはわずか0.88%。原爆症認定集団訴訟は、申請を却下された各地の被爆者306人が、その「被爆の実相」を明らかにしていくことで、国に原爆症を認めさせ、核兵器廃絶に寄与したいとして提起した裁判であり、本書は、そのたたかひの記録である。

放射線の影響を過小評価あるいは無視する「専門家」たちとともにアメリカの核政策に隷属する日本を支え続ける厚労省の姿は、福島第一原発事故後の対応と寸分変わらない。

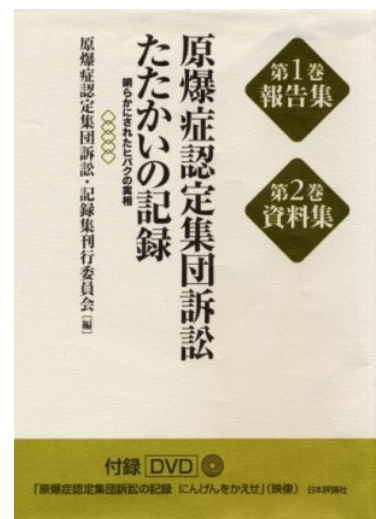
それに対し、原告たちはいのちを削りながら、原子爆弾は投下時の直接的な被害にとどまらず、とり

わけ内部被曝という形で、永続的に人々の人生に影響を与えることを、法廷という場で明らかにしていく。

この「成果」をいかさねばならないだろう。

私たちは、あまりに深刻な事態のまえに思考停止することがあってはならない。

なお、付録のDVDに収められた記録映像は、原告の方々と支援者、弁護士たちのしなやかな法廷外のたたかひの模様を伝えている。中でも厚労省での申入れの模様は秀逸だ。映し出される原告の、ひとりひとりの肉声、佇まいを私は忘れることができない。その多くが故人である。(A)



★編集後記★

おかげさまで、HuRP通信は今号で第60号を迎えました。記念すべきこの号にあわせて、タイトルロゴを一新してみました。このロゴは私の母が書いたものです。HuRPらしい、気取らないのびのびしたロゴに仕上がったと思いますが、いかがでしょうか。みなさまに気に入っていただくと嬉しいです。(サヤカ)



特定非営利活動法人「人権・平和国際情報センター」(HuRP: ハープ)

Human Rights and Peace Information Center JAPAN (HuRP)

〒101-0065 東京都千代田区西神田2-7-6 川合ビル41号室 TEL&FAX 03-3234-3231

e-mail hurp@hurp.info HP <http://www.hurp.info/>